

第2回幼稚園再編に係る地域協議会(俵口幼稚園) 会議録

日 時:令和3年3月24日(水) 15時から

場 所:俵口幼稚園リズム室

参加者:森本座長、上田委員、吉村委員、小松委員、平田委員、中尾委員、平田委員、
奥村委員、九鬼委員、二宮委員、細口委員、河盛委員、城野園長、坂谷委員

事務局:奥田部長、松田課長、松本指導主事、生水(会議録作成者)

傍聴者:7名

<開会>

座長挨拶

次第1 「生駒市立幼稚園のあり方に関する基本的な考え方」で示された再編案(以下「原案」という。)に対する意見の共有と整理について

事務局説明(別紙資料1、資料2のとおり)

事務局 その他意見については、少人数の良さについてや、俵口幼稚園のままでこども園化してはどうかという意見が多かった。

座長 他にも追加で意見があれば、引き続きこども課のほうへ提出を。

次第2 原案に対する追加意見について

座長 次第1で紹介があった意見以外にもあれば、紹介してもらいたい。

事務局 資料(意見のとりまとめ)について事務局で説明してよいか。

座長 事務局から説明してよろしいか。

事務局 俵口育友会から回答をいただいた。俵口幼稚園保護者 77 名中35名、未就園児保護者 11 名、小学生保護者(喜里池子ども会) 19名中14名より。まず問1「俵口幼稚園と生駒台幼稚園の合併こども園化について」は俵口幼稚園保護者では賛成5.7%反対71.4%未就園児保護者では賛成18.2%反対72.7%小学生保護者(喜里池子ども会)では21.4%反対57.1%。次に、問2の「俵口幼稚園について重要視する点(複数回答)」だが、小学校と通学路が同じことについてが最も多い。

俵口幼稚園保護者では 88.6%未就園児保護者では 81.8%小学生保護者(喜里池子ども会)では 92.9%。あと少人数で目が行き届きやすいという点も多く、俵口幼稚園保護者では 65.7%未就園児保護者では 81.8%小学生保護者(喜里池子ども会)では 42.9%。問3「俵口幼稚園が存続する上で心配な点」については、「この先、超少人数になりかねない」ことについてが、俵口幼稚園保護者 71.4%未就園児保護者では 90.9%小学生保護者(喜里池子ども会)では 71.4%と最も多かった。問4「生駒台幼稚園のこども園化した場合魅力的に感じる点(複数回答)では「給食がある」ことという回答が多く、俵口幼稚園保護者で 57.1%未就園児保護者では 72.7%小学生保護者(喜里池子ども会)では 57.1%だった。問5「生駒台幼稚園をこども園化したときに心配な点(複数回答)」として多かったのは「小学生のきょうだいがいる場合の小学校との連携がとりにくくなること」で俵口幼稚園保護者では 74.3%未就園児保護者では 81.8%小学生保護者(喜里池子ども会)では 85.7%。あとは「こども園周辺の交通量の増加する」や、「災害時の園児の引き取りに時間がかかる」などが回答として多かった。その他自由記述についてはバス停が遠い、自然が多いので好き、俵口幼稚園はこども園化できないのか、俵口なら徒歩なのに不平等、両方をこども園にはできないのか、大人数で十分な保育はできるのか、交通量が多い道を通ることになるなどの意見があった。こども園になったときの具体的なことがわからないという意見もあったが、これについてはしっかり情報提供していかなくてはならないと反省している。未就園児の保護者からは大人数で十分な保育ができるのか不安、通園に負担がかかる、交通量が多い道を通ることへの対処が必要などの意見があった。

座長 学校評議員が聴取したものについてはどうか。

事務局 南喜里ヶ丘自治会班長会で集めていただいた。本日提出があった分と合わせて回収は38名中12名。回収率は31.6%。意見として、(1)通園の負担については、「通園バスの運行拡大や送迎のための駐車・駐輪スペースの確保や安全の配慮が必要。」との意見や、「通園バスの乗降場まで送迎するという親の負担が増える。」という意見、「通園バスの料金負担は最小限にしてほしい。」という意見、「保護者が幼稚園に参観等に行く場合の負担が大きく、生駒台幼稚園の付近は住宅地で駐車スペースなど皆無。」といった意見が出された。(2)生活環境の変化については、「行事で保護者が園に行く時もあり、駐車スペース等をできるだけ広くしてほしい。」「きょうだいがいる場合、そろって統合のこども園に通園はできないのか。」「きょうだいが同一幼稚園に通園できると送迎に都合が良い。」などの意見をいただいている。(3)地域との関係では、「地元地域との接点が無くなってしまう。」などの意見があった。(4)跡地の利用については、「きちんと計画を立て、予算も確保して地域住民に説明

していただきたい。」「野放しは絶対にやめてほしい。」などの意見をいただいた。(5)特別な配慮を要する園児への対応では、「先生や保育士さんの人数等をしっかり確保していただきたい。」などの意見があった。(6)その他のご意見としては、「幼稚園のない地域ということで、こちらへ移住してくる大きな選択肢が減ることになり、地域振興に逆行する。」といった意見や、「俵口幼稚園区の住民は生駒駅に出て近鉄電車で通勤する人も多数おられるものと推測され、子どもを預けるためにわざわざ通勤の生駒駅と反対方向の生駒台幼稚園まで時間と労力をかけて通う人は非常に少ないと思う。」などの意見があった。

座長 喜里池自治会のまとめはどうか。

事務局 こちらは、意見聴取票の前に賛成、反対に○を記入する様式を付けて、回覧方式で聴取していただいた。その結果は、賛成52票、反対75票。まず通園の負担に対する意見について。「通園バス代が保護者の負担になる。」「通園バスの場合はバス停留所の数を考慮する必要がある。」「幼稚園がなくなると人通りも減るので防犯上心配である。」「俵口小学校への通学に向けて、通学への慣れや体力面などで不安。」などの意見があった。生活環境の変化については、「災害時の対応に時間がかかる。」「小学校との連携やお迎えが困難になる。」他にも少人数であれば先生の目も行き届きやすいなどの意見がでている。

座長 先程も事務局から説明があったが、意見聴取について現在の状況報告などあるか。

委員 資料等もらったが、まだ回収できていない。時間が少なく、集まる機会もなくて時間がかかっている。

座長 第3回地域協議会もあるので、またその時にでも。

委員 各班長に意見聴取票を渡してはいるが、「突然」という受け止めだった。唐突なアンケートになってしまったので、すぐにお願ひしますというのは難しい状況だった。次の自治会で回収予定。経緯がわからないという意見が多かったように思う。もうかなり決まっているのではないかという受け止めだったように感じた。

座長 このような受けとめかたがあったということで、事務局はさらなる情報配信に努める必要がある。

委員 生駒市は地域の将来に対してどのような方針を持っているのか。若い人の転入や、地域活性化などについて生駒市の基本的な方針が見えていない中でのこの話なので、わかりにくい。

座長 生駒市の大きなビジョンとしてどのように考えているのか、最終的には意見をまとめるわけだが、生駒市のビジョンを盛り込むこともできるのかと思う。

委員 現在のビジョンはどのようなものか。

事務局 今後、子どもたちの教育をどうするかという観点で言うと、若い世代の転出问题や出生率の低下については、どこの自治体も同じ問題として捉えている。都市計画の中ではコンパクトシティという話もあるが、どういった街づくりが良いのかを考えていかなければならない。そんな中、学校再編の話が出ているのは子どもが減っているところによるが、そういう意味では、人口を増やす、どうしたら定住していただけるかということを考えなければならぬということになる。今まで大きな開発に伴って学校を増やしてきた経緯もあるが、逆に人口が減少すれば学校規模の縮小ということを考えなければならず、これは国からも厳しく言われている。一言でビジョンと言っても、いろんな問題、例えば、少子化の問題、ファシリティマネジメントのことも関係する。それらをどう解決していくかがあって、難しいところである。地域の力を借りながら、共に取り組んでいくことが大切だと考えている。

委員 地域が今後どのように変わっていくか、心配である。

座長 他に何か意見はあるか。

委員 「原案」にそってすすんでいると思うが、私立にすることは考えているのか。

事務局 再編について、まずは公立で考えている。再編後に子育て支援の場が必要であれば放っておくわけにはいかないの、民間の力を借りることもありえる。民間の参入や力を借りることは必要になってきており、現に保育施設のほとんどが民間で、公立は 27 園中の4園だけ。そして保育施設であれば私立でも市の基準に統一されて保育料も同じになる。ただ、いきなりの民間参入は考えていない。

委員 今保育料は無償か。

事務局 3歳以上であれば私立も公立も無償。0～2歳は保育料が必要。

委員 近くの民間の園をこちらに持ってきてはどうか。こぐま園であれば病児保育もある。ただし、病院関係者が優先ではあると思うが。あそこであれば生駒台より近いし、そういうことも考えたら良いのではないか。

座長 他に何かあるか。

事務局 教育委員会が示した、統合・こども園化という原案に対して、先ほど紹介したように様々な意見を頂戴した。中には、原案と違う提案もあったが、第1回地域協議会でも説明したとおり、原案に対する意見から、原案を検討するにあたっての課題を整理し、その対応策を検討してほしい。これにより、地域協議会から「幼稚園再編・こども園化についての意見書」を市教育委員会へ提出する際に、課題として提示することができるのではないかと思う。

次第3 について

事務局説明(別紙資料3のとおり)

事務局 これは頂いた様々な意見の中から、教育委員会が示した統合・こども園化という原案に対する課題について、事務局側でまとめたものである。まだ意見は集めており、ここにおられない団体の分もある。この場で課題も追加してもらえればと思う。右の空欄については、地域協議会として解決策などがあればと考えている。第3回地域協議会までに届いた意見などの中から追加があれば記載してもらいたい。

座長 現段階で何かあるか。

委員 統廃合でなくなると仮定して、その先どんな状況になるかというのをどこまで考えているのか。幼稚園がなくなると、小学校もなくなるという状況は容易に想像できる。単に幼稚園の話だけでなく、地域全体を含めた話になるのではないか。地域全体を視野に入れた話をする必要があるのではないか。

座長 これも大切な観点。これについて何かあるか。

委員 幼稚園がなくなれば小学校もなくなるのではないかという意見について、小学校は義務教育で地域ごとに学区があるが、就学前は選択肢が非常に多い。地域への考え方だが、私たちが一番に考えるのは地域にどのような就学前サービスが必要なのかという点。俵口と生駒台は預かりサービス利用が多いのでこども園なの

かなと。私たちは就学前のサービスを考える部局なので、ここにどういうサービスがあればいいのかなというのには教えてほしいと思っている。

委員 俵口小学校の統廃合の話は5・6年から前からあった。生駒台小学校は西白庭台の人数が増えたから延期になったと話題になっている、実際にどうなのか。幼稚園が減れば小学校も減るのではないか。

事務局 子ども達が減っているということでの幼稚園再編となっているが、今のところ小学校児童数は、統廃合の水準ではない。幼稚園は保育需要が高まっているからこども園化が必要だと思っている。小学校はまだ。幼稚園に通う子が減っているという問題がこの俵口に起きている。そして就学前の子どもが減っていった。小学生も減っている。が、俵口に関してはまだその状況ではない。家の状況でたくさん子どもが増えるパターンはあると思う。統計を取っている。西白庭台は家が建ちそろったが、子どもの数は横ばい、低下している。

委員 幼稚園の次は小学校じゃないかと、そういう風に思ってしまう。

座長 県内でも統廃合が進んでいるが、人数が1クラス数人になる状況じゃないと小学校はなくなるのではないかと思う。

委員 「特別な配慮を要する園児について」という項目について、俵口園区の対象人数と対応はどうなっているか。

委員 特別な配慮を必要とする園児については、どこの幼稚園にも在園していると思うが、市内保育園は全て同様に、個別に対応できる先生がついている。在園する人数は毎年変わっているが、生駒台と俵口で対応は同じ。

座長 担任以外に、特別な配慮を必要とする園児には、対応する先生が配置されている。

委員 俵口幼稚園をこども園化することについて、すでに議論は尽くされていると思うが、やはりかなり厳しいのか。

事務局 園の適正な配置という点で、近くに保育園があるか。次に園児数がどうなるか。出生前に数字を考えると推計になるので難しいところではあるが。次にこども園化するにあたり、駐車場や保育ニーズについて。法律により子育て支援計画を立

てて、ニーズを把握することと定められており、その際に無作為抽出でアンケートをしている。その結果で保育ニーズがどれくらいかを検討している。あとは厨房や調理室が確保できるのか。それらを検討して生駒台幼稚園とされた。建物の部分も大きいかと思う。

座長 他に何かあるか。

座長 次回は課題に対する対応について。地域の方々や、園、行政がこういうのができるのではないかというのを、いろんな観点から出せたらと思う。

事務局 次回の日程について、現在まだ意見を集めている段階ということもあるので、進捗を見ながら決めていってもいいと考えているがどうか。

委員 今決めたほうがよい。5月なら意見も出揃っているのではないか。

事務局 意見の集まり具合によっては日程変更があるかもしれないが、次回は5月11日火曜日の15時から、場所は俵口幼稚園リズム室で決定とする。

<閉会>